

宮西高校同窓会報

発行 愛知県立一宮西高等学校 同窓会

心豊かな日々を

同窓会長 山内 進



私共一回生が母校を卒業して今年で20年となりました。しかし一宮西校同窓会報の発行は、やっと今年で第3号であります。まだまだ同窓会活動も始まったばかりといっても過言ではありません。同窓会員の皆様方の御協力を切にお願いいたします。

さて、現在我が国においては、昨年10月のG5ショック以来急激な円高に見舞

転任の挨拶

校長 鶴田 功



今年の四月から、前任校の犬山南高校より転任いたしました。前任者の柘植校長先生同様よろしくお願いいたします。外から西校をみていますと、進学校として、その名をとどろかせていますが、着任してみますと、内部的にはいくつ

の大きな問題をかかえていることに驚いています。

まず第一の問題点は、今年で昼間定時制が廃止されるということです。本校の昼間定時制は昭和四十年四月、まだ本校が分校の当時に併設され、以後二十年間

われ、これからの我が国の進んで行く方向についての選択を強いられております。もはや、日本という国は、国内の都合、事情だけで動く事は許されない状況になって来ていると思います。地球的視野をもつて対処していかなくてはなりません。

ある有力企業の人事担当者の話がありますのでここに紹介します。「これからのリーダーは何も秀才の必要はない。私達は、何か頭でリーダーになろうとすすぎている。人を動かすのは感情である。人の痛みを自分の痛みに、自分の喜びを人の喜びとして、感じとらせられる豊かな感性のある人である。これが企業で今求められているリーダーの最大要素であるということ。物質的な豊かさから、精神的な豊かさへ、さらに又昨今は、「感性の時代」とかいわれており、表現こそ様々ですが、「心」の時代に入っていると言う事は明白であります。どうか西校同窓会員の皆様におかれましては、心豊かな

しかし、近年、産業構造の現代化にともない、企業が中学校卒の採用を中止し高校卒の採用が一般化したために、入学者が減少し、すでに三年前に新入生の募集を停止してしまいました。今年度は、四年生が四十一名、教員は、教頭先生をはじめ五名が残っておりますが、それも明年の三月ですべて終りということになります。普通教室だけでなく、特別教室も定時に独立して設置してありますので、明年度以後の利用計画の作成が急務となっております。

第二の問題点は、すでに新聞でご存知のように学校群が近々、廃止になるとい

うことであります。

廃止以後の募集方法については、大綱が発表になっていて、この地域の高校がどの組み合わせになるかが決定していません。その点で、具体的に本校がどのような影響を受けるかは、明らかではありませんが、従来とは異った学校になることは予想されます。

この点についても、着任以来、多くの方々から、ご意見や、ご指導をいただいております。しかし、それを要約いたしますと「群廃止以後も極端な変動をきたすことを防げ」ということにつきるようです。自分の卒業した学校、つまり母校

の地盤沈下を聞くのは、だれでも感じのよいものではありません。

本来、学校教育とは、生徒の学力を保証することはもちろんですが、人間としての成長を保証することも大切な務めとなっております。その点で、群廃止以後の本校のあり方を検討するに際しても、この両者の調和をはかる過程で、その道の探索にあたり、地域社会の信頼を得る方向で解決をしていきたいと考えております。その点で同窓会の皆様のご協力、ご支援を心からお願いするものであります。

れから暑い季節を迎えるにあたり、御健康に留意され、ますます御活躍されん事を願ひまして第3号発行の挨拶とさせていただきます。

総会のお知らせ

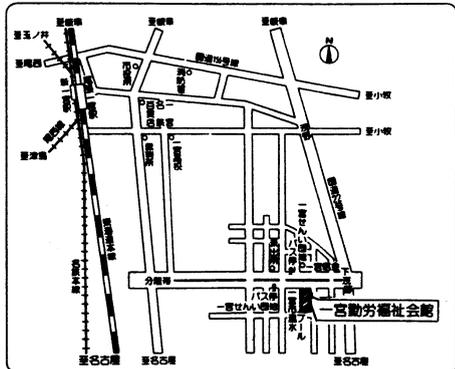
同窓会総会を左記の要領で実施いたします。多数・御出席を心待ちにいたしております。

日時 八月十日(日) 午前十一時〜
終了後、立食パーティー(会費二千円/写真代込み)を準備しております。

場所 一宮勤労福祉会館小ホール

※なお準備の都合上、出欠席の葉書も七月末日迄にお出し下さるようお願いいたします。

※最後に今回出席予定の先生方の御氏名を三面に掲載させていただきます。



西高での思い出



大野先生

私は、昭和四十七年四月から、六十一
年の三月まで、実に十四年間、若い人た
ちにとっては、気の遠くなるほどの長さ
であろうが、私にとっては、濃縮した一
瞬に思われるこの期間、一宮西高校にお
世話になった。そして、現在、一宮西高
校は、私にとって、沸々と湧き、汲めど
も尽きぬ想い出の泉だ。それらは、時と
場所を選ばず、ぼんやりと外を眺めてい
るときの、一寸のすきを突いて、通勤の
満員電車の中でさえ、突然湧き出してくる。
私も、西高を語るとき、ようやく、同窓
生のみなさんと同じ立場に立てるのでら
う。

私の眼前によく浮ぶ西高の構造物は、
何といっても、正面玄関の附近と、体育館
の北側のメタセコイアなのだが——メタセ
コイアは、私が朝夕眺めていた樹木で、
その周りには、いつも季節が漂っていて、
生きた化石といわれる生命力と、ナイー
ブなたたずまいで、いつの間にか私の大
好きな樹になっていたのだが——圧倒的
によく思い出すのは、小さな出来事を通
しての、生徒や先生方の顔・顔・顔であ
る。

西高は、本当に「人」に恵まれていた
と思う。思い出される生徒諸君の顔・顔
・顔は、それが廊下を背景にしていたり、
修学旅行中の一コマであったりするのだ
が、どのひとりをとっても、みな素敵な

子たちだった。今は、どうしているのか
なあ、と思ってしまうのは、私の、老人
趣味なのだろうか。先生方にも恵まれて
いた。どのお方も懐かしい。職員会議の
ことや、学年会のこと、そこでの小さな
論争のことなども思い出すが、結論
は、いつも、いい方向に決まっていた。
最後のところで、みんなが、とことん西
高のことを思っている議論だったからだろ
う。

私は、よく朝礼で話す機会を与えられ
そのたびに、臆面もなく、それでも一生
懸命に、いろいろなことを話させてもら
ったのだが、そのひとつに、「思い出の先
取り」というのがあった。それは、今の
自分を、数年後の自分が、どう振り返り
どう思い出すだろうか、ということをも、
今、考えながら、西高での毎日を通してそ
う、ということであったのだが、これを
口にした当の私が、その頃のことを思い

出しているということは、赤面の至り以
外の何物でもない。この赤面は、教師の
宿命なのか、それとも、人生の宿命なの
か。それでも、この赤面も、西高という
大きな存在の中に包まれると、少しはや
わらいで、ほっと救われる。

私は、現在、名古屋市内の県立高校で
お世話になっているが、ここでも、一宮
西高校の評価は、極めて高い。最も消極
的な誉め方をする人でも、あそこは、生
徒がいいからね、といってくれるし、も
っとよく知っている人たちは、「西高精
神」を称賛してくれる。私も、同窓生(客
員)のひとりとして、とてもうれしい。
同窓生のみなさんと同じく、私も、今後
いよいよ西高が発展することを、祈って
やまないからだ。併せて、同窓会活動も
いよいよ盛んになって、西高同窓会が、
年輪とともに、すくすくと育って、大樹と
なられんことを、祈ってやまない。

常任幹事の皆さん

卒業回	氏名	現住所	電話
1	田中 吉晴	〒491 一宮市北園通	
3	小川 健一	〒491-01 一宮市浅井町大日比野	
4	金 久男	〒491 一宮市大宮	
6	浅野 良二	〒494 尾西市北今西田面一ノ切	
7	小関 隆史	〒491 一宮市本町	
8	山内 治己	〒491 一宮市天王	
9	松平 康彦	〒491-03 一宮市萩原町串字松本	
10	野倉 正人	〒491-01 一宮市浅井町前野字畑中	
11	金子 秀夫	〒494 尾西市東五城字上川田	
12	堀場 正人	〒491 一宮市大字大赤見	
13	伊藤 信久	〒491 一宮市丹陽町九日市場	
14	丹羽 徹	〒491 一宮市松降	
15	三輪 一吉	〒491-03 一宮市萩原町中島	
16	市原 博司	〒491 一宮市真清田	
17	伏 拓治	〒492 稲沢市高御堂	
18	伊藤 裕一	〒491-01 一宮市浅井町尾関字同者	
19	河辺 善成	〒491-03 一宮市萩原町萩原	
20	東城 隆司	〒491 一宮市丹陽町藤本	

昨年度総会



昨年度の同窓会総会は、会場を一昨年
の母校体育館から一宮スポーツ文化セン
ターに移し、八月十八日午後一時より開
催されました。参加会員は六十名余り、
旧職員として宇佐見忠雄先生が、また母
校職員として校長先生、教頭先生を含む
九名の先生方が出席されました。会は、
山内進同窓会長ならびに柘植敬一郎校長
先生のあいさつにはじまり、つづいて昭
和五十九年度事業報告・会計報告、昭和
六十年事業計画案・予算案の審議に移
り、いずれも満場一致で承認されました。
事務局から西高の近況について報告があ
った後、この日の総会にあわせて製作さ
れた「一宮西高同窓会総会」の立て看板
をバックに「同窓会総会」は懇親会(立
食パーティ)へと移りました。

昨年度の総会への会員の出席状況は、
残念ながらあまり芳しいとは言いがたく、
全体的に会に盛り上がりは欠いたことは
否めません。数日後の中日新聞尾張版に



昭和60年度 一宮西高同窓会総会

おいて、「出席六十人とは寂しいナ」と
いう見出しで、本総会の模様が「いくぶ
ん危機感の漂うパーティ」として紹介
されたことを記憶されている方も多
いと思います。にもかかわらず、懇親会では
各テーブルで談笑の花が咲き、最後は、
参加者一人一人が来年の参加者をもつと
ふやすことを決意しつつ、西高の校歌を
高らかに歌って会を閉じました。本年度
の総会には一人でも多くの会員が参加し
て、若い西高同窓会をみんなまで盛り上げ
ていこうではありませんか。
なお、この会報の別項で紹介されてい
ますが、昨年度の総会に出席した第六回
卒業生の間で合同クラス会の話がもちあ
がりが、今年一月に実現したことをつけ加
えておきます。

「定時制最後の年を迎えて」



教頭 南部 博

定時制は本年度末をもって、二十二年にわたる歴史の幕を閉じることになります。地場産業とともに、一宮市では唯一の働きながら学ぶ昼間二交代制の県立学校であった本校も、歴史の流れには抗しきれず、ここに輝やかしい足跡を残しつつ、ついに姿を消すことになるのです。西高の名物が、特色がなくなる寂しさは、内にいますものよりも、外におられる方、卒業された同窓生、本校を去られた職員の方々にこそ、一層深い思いのあることと察します。

振り返れば、昼間二交代定時制(家政科二クラス)が併置されたのは、一宮高校西分校の創設二年目の昭和四〇年四月のことでした。以来四一年には独立校となり、四八年には新たに普通科二クラスが増設され、五六年までつづきました。しかし五七年に家政科が、五八年をもって普通科が募集を停止されたのです。その間には、最大規模十六クラスで在籍生徒数五〇〇名を上まわる年もありました。その背景には、一、全国的に高校進学率が九〇%を越え、働きながら学ぶ中学卒業者の採用ができなくなったこと、二、短大に通いながら働く体制に切りかえられ、高校卒の生徒を採用する形態に急速に変換させられたこと、三、繊維産業自体の体質改善の努力が急速に行われ、大型・新鋭機械、コンピューターの導入に

より労働力の省力化が促進されたこと、四、繊維産業の製品の供給過剰、開発途上国の追い上げ、流通過程の複雑化等による繊維産業自体の体質改善が進行したことが挙げられます。このように見えますと、本校定時制の歩みは、まさにそのまま日本社会の変化を浮き彫りにした歴史を秘めているとさえいえそうです。残された一年、有終の美を飾るべく、スタート当初に思いを馳せつつ、職員、生徒一丸となっています。

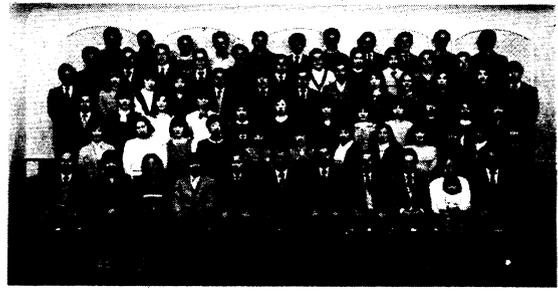
Table with 4 columns: 卒業者の多い事業所と県名及び本校と関係した年数, 会社名, 卒業者数, 関係年数. Lists various companies like 日本毛織一宮工場, 敬島紡織江南工場, etc.

Table with 4 columns: 22年にわたる卒業生数と関係した事業所数及び出身県数, 入学年度, 入学者数, 卒業生数, 関係事業所数, 関係出身県数. Shows trends from 1940 to 1961.

第六回生同窓会

今年一月五日、一宮市内の「江美」にて第六回卒業生の学年同窓会が開催されました。西高を卒業して十四年、この間クラスによつてはクラス会を数回開いたようですが、最近絶えている様子。そんな中で、クラス単位ではなく学年単位で同窓会を開こうと切り出したのが、永井清澄君。昨年八月の同窓会総会の席でこの話です。たまたま同席していた学年常任幹事の浅野良二君と同窓会事務局の私がこれに同調し、さらに岩田均君、岡崎誠広君、馬場豊君を有志に加え、いよいよ話が具体化していくことになりました。われわれは期日を一月五日と決め、恩師の先生方ならびに同期生に案内を出したところ、意外に大きな反響をよびました。わけても十四名の恩師の方々のうち、学年主任だった後藤幸男先生をはじめ、戸田元照先生、松浦達雄先生、南部博先生、天野都夫先生、林照崇先生、竹山(旧姓大橋)一江先生、猪野(旧姓鶴岡)滝代先生にご出席いただいたことは、われわれ有志にとつては望外の喜びでありました。当日は、これら八名の先生方のほか有志を含めて六十二名の同期生が「江美」の一室に集い、開会以前から会場は熱気に包まれていました。会は、有志代表のあいさつ、先生方の近況報告と型通りに進み、記念撮影後は会食に移りました。各テーブルでは久しぶりに会う先生や旧友との間で話がはずみ、時の経つのも忘れてしまいます。われわれも三十代に入り、学生時代の面影を見出すのもむずかしくなりましたが、それにひきかえ先生

方若きには驚嘆、思わずわれわれはまだ生徒であるかのような錯覚にとらわれてしまいます。歓談尽きぬうちに、やがて校歌を大合唱して閉会。第一回の学年同窓会はこうして成功裡に幕を閉じました。近いうちにまたやりましょう。(六回生・山内清生)



愛知県立一宮西高等学校 第六回卒業生同窓会 昭和61年1月5日 於 江美

グラウンド整備 長年の懸案でありましたグラウンドの整備が、昨年度末行われました。これを機会に運動面における一層の活躍が期待されます。

同窓生5行通信の募集 今回、同窓生の皆さんの近況を5行程度(約80字程度)で募集することになりました。字数も少ないので、気軽に投稿して下さい。あて先 〒491-03 一宮市萩原町串作字河田1番地 一宮西高校 同窓会事務局

- 同窓会総会出席予定 旧職員 柘植敬一郎・田中博 田村伸恵・戸田元照 宮田方史・宇佐見忠雄 高橋幸則・宇佐美武嗣 矢内乃武夫・横山忠重 現職員 鶴田功・南部博 深川恵造・伊藤幸雄 堤智彰・日本松 山内清生・伊藤克也 安田賢司・今枝義光 田中雅夫・岩田幸雄 志村信男

卒業生の進路状況

〈全日制〉 大学の項の数字は合格者数 ()は浪人

	S61年度	S60年度	S59年度	S58年度
国立大学	209 (63)	135 (51)	147 (50)	128 (33)
公立大学	33 (5)	33 (7)	30 (8)	40 (9)
私立大学	485 (214)	367 (188)	330 (144)	335 (117)
公立短大	98 (6)	54	60 (4)	76 (4)
私立短大	104	68	85 (2)	85
各種専門学校	30	18	11	34 (3)
就職	9	7	7	15

〈定時制〉

	S61年度	S60年度	S59年度	S58年度
入学時の生徒数	58	70	106	110
卒業者数	42	37	62	65
4年制大学	0	0	1	0
短期大学	1	3	6	2
就職	17	25	41	18
就職進学者	4	12	15	1
専修学校等	8	12	14	4
家事従事者	0	0	0	18
その他	20	9	15	24

校長 柘植敬一郎(愛知学泉大学)
 国語 神山 雅朗(西春高校)
 社会 田中 博(新川高校)
 数学 大野 達郎(瑞陵高校教頭)
 理科 塚本 三郎(新川高校)
 英語 齊藤 謙一(刈谷北高校)
 音楽 鷲津 文子(一宮南高校)
 保健体育 伊藤 智子(祖父江高校)
 養護 大鹿高雄(津島高校)
 英語 宮田 方史(名古屋南高校)
 事務局長 馬場 保行(犬山高校)
 主事 五十嵐 栄(東海商業高校)

校長 鶴田 功(犬山南高校)
 国語 光田 吉夫(平和高校)
 社会 工藤正太郎(小牧高校)
 数学 入砂七五三(一宮北高校)
 理科 栗木 秀己(名古屋大学卒)
 英語 浅野 誠幸(佐織工業高校)
 音楽 上條 裕司(平和高校)
 保健体育 坂倉 富行(五条高校)
 養護 木村 齊(祖父江高校)
 事務局長 山田 敏男(一宮養護学校)
 主事 小松 一枝(東新県税事務所)

職員の異動

数学 宮崎 豊 (定時制)

部活動紹介

【運動部】

	男子				女子				合計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
体操	3	4	3	10	12	4	7	23	33
卓球	22	9	3	34	7	6	15	28	62
テニス	17	20	17	54	22	12	14	48	102
水泳	7	7	6	20	3	1	7	11	31
バスケット	23	14	8	45	16	10	8	34	79
バレーボール	10	11	9	30	8	18	16	42	72
陸上	2	14	13	29	7	6	1	14	43
ハンドボール	7	8	10	25	7	9	5	21	46
弓道	10	16	8	34	8	14	7	29	63
バドミントン	12	9	10	31	7	15	8	30	61
剣道	6	8	5	19	4	7	7	18	37
山岳	1	8	2	11	5	3	1	9	20
ソフトボール	0	0	0	0	10	9	13	32	32
野球	15	10	9	34	1	1	1	3	37
ラグビー	28	15	16	59	3	3	2	8	67
柔道	6	5	6	17	0	0	0	0	17
サッカー	24	15	18	57	0	2	2	4	61

【文化部】

	男子				女子				合計
	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
生物									
美術									
写真	2	0	9	11	0	0	0	0	11
演劇	4	0	0	4	0	11	3	14	18
現代科学	8	15	2	25	0	3	3	6	31
茶華道	0	0	0	0	3	8	3	14	14
音楽	3	4	0	7	2	4	4	10	17
手芸調理	0	0	0	0	0	1	9	10	10
文芸	9	10	0	19	0	5	5	10	29
ブラスバンド	10	2	8	20	10	2	0	12	32
放送	8	5	4	17	2	4	0	6	23
新聞	2	1	2	5	0	0	0	0	5
筆曲	0	0	0	0	0	5	9	14	14

部活動大会成績

本年度の七月十日現在の大会成績及び合宿日程です。昨年度の成績に比べ、かなりの良績をおさめることができました。微力ながらも精一杯頑張っていますので御指導の程よろしくお願ひします。

【高校総体大会成績】
 ラグビー 優勝
 バレーボール 優勝
 ハンドボール 二位
 体操 三位
 テニス 三位
 (以上県大会出場)
 体操 四位
 剣道 四位
 バスケット ベスト八
 ベスト八

合宿日程

期	日時	男	女
1	7/10 7/11	●ハンドボール ●バドミントン ●テニス	●ハンドボール ●バドミントン ●ソフト ●卓球
2	7/12 7/13	●柔道 ●バレーボール ●陸上 ●剣道	●バレーボール ●陸上 ●剣道 ●テニス
3	7/14 7/15	●サッカー ●体操 ●水泳 ●弓道 ●卓球	●体操 ●水泳 ●弓道
4	7/16 7/17	●野球 ●バスケット	●バスケット

会報も3回目となり、誌面も次第に定着してきました。今年度は校長先生をはじめ、多くの先生方が異動になりました。また、定時制が最後の年を迎えています。このように西校の歴史も変化している中で、同窓会の足跡をしっかりと刻んでいかねばなりません。筆者も今度の転勤で母校にお世話になることとなり、教員になったことと併せて、全く思いがけない出来事です。これを機会に同窓会の発展に寄与できたらと思いつつ、筆をとっています。

(文責・八回生 光田 吉夫)

編集後記